

令和2年(2020年)1月26日 NO.242 発行/小平市議会 編集/広聴広報特別委員会 〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1333番地 TEL 042 (346) 9566 小平市議会ホームページ https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/ 電子メール gikai@city.kodaira.lg.jp

# i議会だより









令和初めてのお正月に向けて(小平ふるさと村)

令和元年12月定例会は、11月 26日から12月19日まで24日間 の会期で開催されました。

この定例会では、平成30年度 の各会計歳入歳出決算(詳細は2 面に掲載)を認定するなど、22件 の市長提出議案を可決・認定・同 意しました。議員提出議案は、放 射線副読本の記述内容の見直しを 求める意見書など3件を可決し、 4件を閉会中の継続審査としまし た。請願は継続審査となっていた 1件を採択しました。

また、11月27日から3日間に わたり、25人の議員から60件の -般質問がありました。

### 12月定例会

## 令和元年度一般会計補正予算 (第3号)など25議案を可決

一平成30年度各会計歳入歳出決算を認定ー

ことや

### **らものを除く)を出すことは法律で禁** は、選挙区内の人に、お金や物を贈る 止されています。 時候のあいさつ状(答礼のための自 いますので、 ご理解をお願いいたします。

# 員の寄附行為や時候のあいさつ状は

さご指導を賜りますようよろしくお願いいたします。 に臨み、本年が皆様にとりまして笑顔の絶えない あいさつとさせていただきます。 年となりますことを心より祈念いたしまして、

つ、議員一同、全力を尽くしてまいりますので、引き続 いまな課題に目を向け、市民の生活向上に寄与できるよけう課題解決や子育て環境の充実、災害対策など、さまい合計画基本構想の最終年度となります。少子高齢化に、が開催されるほか、令和2年度は、小平市第三次長期本年は、いよいよ東京卿オリンピック・パラリンピッ本年は、いよいよ東京卿オリンピック・パラリンピッ 合常任委員会が動き出しました。引き続き、市民 、議会改革に取り組んでいく所存です。 とってわかりやすく、開かれた市議会を目指し、

して厚くお礼申し上げます。会に対し、温かいご理解とご こととお慶び申し上げます。また、日ごろより市 ましておめでとうございます。 ど皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお 温かいご理解とご協力を賜り、市議会を代



副議長 津本裕子

新

般 숲 計

特別会計

下 水

合

国民健康保険事業

後期高齢者医療

道事

計

介護保険事

平成30年度決算総括表

歳出決算額

64,315,182,208

17,205,233,505

4,205,963,225

12,665,502,643

3,390,191,375

101,782,072,956

歳入決算額

66,310,489,133

17,364,827,468

4,232,922,801

12,907,737,569

3,830,469,720

104,646,446,691

# 各会計決算を認定

ずれの会計も認定すべきものと決定しました。 別会計は10月18日に審査を行い、採決の結果、 案を審査するため、一般会計及び特別会計の各決 委員長から審査報告が行われ、採決の結果、一般 算特別委員会を設置しました。 会最終日に市長から提出され、その後これらの議 計決算特別委員長と山岸真知子特別会計決算特別 平成30年度各会計決算の認定議案は、9月定例 12月定例会初日の本会議では、小野高一一般会 一般会計は10月15日から17日までの3日間、

> 額が約2億7千4百万円に る。①ふるさと納税の流出

反対の理由を以下に述べ

# 般会計決算に対する 各会派の討論

反対

### 賛成

ある。②家庭ごみ有料化等 っていることなどは課題で タル化など防災機能の向上 金の見直し等の早期実施が 問に答えようとする姿勢を 所マニュアルが後回しにな 等を評価するが、福祉避難 る。①防災行政無線のデジ 必要である。③待機児童解 高く評価するが、ごみ袋料 への移行に当たり市民の疑

賛成の理由を以下に述べ 働きやすい環境のために意識 育現場において、スクールサ RPAの導入に力を入れてい 改革が必要である。⑤AI、 政を強く要望する。④学校教 質の向上を主軸とした保育行 開設等を評価するが、保育の 消のため、小規模保育施設の いに評価し、賛成討論とする。 くとの答弁に期待を持って大 ポートスタッフなどを導入し たことを評価するが、教員の

### 賛成

の討論の要旨は以下のとおりです。

単位:円

額

引

1,995,306,925

159,593,963

26,959,576

242,234,926

440,278,345

2,864,373,735

差

なお、本会議での一般会計決算に対する各会派

下水道事業特別会計は全会一致でそれぞれ認定し

会計は賛成多数で、国民健康保険事業特別会計、

**後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、** 

待する。なお、オリンピッ などは評価する。②子育て ある事業に広がることを期 イントがスタートし、魅力 価する。③こだいら健康ポ 支援策として認可外保育園 メラの設置が完了したこと や小学校通学路への防犯カ の整備が大きく進んだこと べる。①マンホールトイレ に対する補助の拡大等は評 主な賛成理由を以下に述

進めることを強く求める。以 置を進めるべきである。家庭 るべきであった。防災につい 得るため市長がもっと行動す ごみ有料化等の市民合意等を ビス向上のため職員の適正配 とするべきである。市民サー は廃止し教育と連携した事業 ク・パラリンピック関連基金 上を申し述べ賛成討論とする。 的なビジョンに立った政策を て、あらゆる災害に備え長期

### 反対 政 和

3万人の年間利用者がいる 組みが不十分である。②約 達していることに対し、寄 ③オリンピック・パラリン ント方針と矛盾している。 花小金井武道館の廃止は、 ないなど財源確保への取り 附金獲得への工夫が見られ 市の示す公共施設マネジメ

非常に消極的な姿勢である。 以上、反対討論とする。

れない。⑥ICT教育の意義 ⑤職員の残業時間の削減施策 極的に行った足跡が見られな 等を認識していると思えない なしと判断せざるを得ない。 者数が不明であるなど、成果 い。④すだち事業による就労 ピックに関して機運醸成を積 全くなく、改革の姿勢が見ら についてICT活用の検討が

### (要旨)

会派の会

賛成

を行った。③小学校の増設設計や 策が図られた。②人間ドック等の 作業療法士の巡回相談回数をふや 利用費補助を行い健康の保持増進 保育園開設等により子育て応援施

シー実証実験運行が2ルート行わ すなど教育環境の充実が図られた。 れるなど、一定の前進が図られた。 ④南西部地域でコミュニティタク

賛成の理由を以下に述べる。

育園の廃園方針は、自治基本条例 参加を行うことを求める。公立保 庭ごみ有料化等は指定ごみ袋の料 平和事業が継続された。なお、家 ⑤平和学習事業等さまざまな非核 以上を申し述べ賛成討論とする。 よる再配置計画等は、絶えず市民 である。公共施設マネジメントに 金引き下げなど対策を講じるべき に基づき説明会の開催を求める。

②経常収支比率が92・7%で依然 園の新設は将来への負担となる。 努力が足りない。③無計画な保育 高どまりだが補助金改革等の改善 正・公平の観点から不適切である。

市長交際費からも支出があり、公 を今年度やめたことは評価するが 進に対する議長交際費からの支出 原水爆禁止世界大会国民平和大行 反対の理由を以下に述べる。

政運営である。⑥オリンピック・後のビジョンがない場当たり的市 たか重視されない仕組みのためP ④すだち事業は大きな成果が見ら パラリンピック関連基金は廃止す DCA改善の必要がある。⑤50年 れない。事業全体が目標達成され

反対

平駅北口地区市街地再開発準備組

評価できるが、以下の理由により とに大きな違和感を感じる。②小 5百万円もの補助金が出されるこ 者への住居確保給付金等の事業は 組合ができる前の段階で1億5千 地再開発準備組合に対し、正式な 反対する。①小川駅西口地区市街 入費用5分の1補助や、生活困難 小学校給食での小平産野菜の購

り入れずに再開発を推し進めるこ 緑地を残すために活用するべきで 緑地を残そうという姿勢が見られ 都市計画道路の用地とするために とを象徴するものである。③市が がある中、市民の意見を十分に取 ある。以上、反対討論とする。 ない。緑化基金をもっと拡充し、 生産緑地を買い取るなど、小平に 合への補助金は、再開発反対の声

### 賛成 活者ネッ

を展開していることから賛成する。 検討に入ることは大いに評価し、 ③公文書管理条例制定への具体的 きる場をふやすことを要望する。 との情報共有や市民同士が議論で する。②さまざまな場面での市民 な立場で課題に取り組むよう要望 なお、①市民協働は、市民と対等 心安全な暮らしのため堅実に事業 財政の健全運営を図りながら安

主避難所開設の際の基準等、 権利の理念を市政に反映する努力 ⑤緑のグランドデザインを描き、 外をつくらない取り組みを求める。 検討を強く要望する。⑦子どもの 家庭ごみ有料化等は、丁寧に説明 長期的な緑の保全を要望する。⑥ 未来に生かせる条例を望む。 を求める。以上、賛成討論とする。 してきたことは評価するが課題の **④** 自

※小平市東京オリンピック・パラリンピック子ども夢・未来基金



### 「議会の日程(予定)

[開云時刻]

原則として午前9時

場所 市役所フ階

傍聴される方は、 議会事務局へ お越しください。

1月31日(金)総務委員会

2月 3日(月)生活文教委員会

2月 4日(火)厚生委員会(※1)

2月 5日(水)環境建設委員会(※1)

2月 6日(木)全員協議会

2月 7日 (金) 請願・陳情締め切り (午前中) (※2)

2月18日(火)議会運営委員会(※3)

2月21日(金)3月定例会本会議(初日)

2月25日(火)3月定例会本会議(代表質問) 2月26日(水)3月定例会本会議(一般質問)

2月27日(木)3月定例会本会議(一般質問)

: 2月28日(金)3月定例会本会議(一般質問)

3月 3日(火)予算特別委員会(一般会計)

3月 4日(水)予算特別委員会(一般会計) 3月 5日 (木) 予算特別委員会 (一般会計)

3月 6日 (金) 予算特別委員会 (特別会計·下水道事業会計) 3月10日(火)総務委員会

3月11日(水)生活文教委員会

3月12日(木)厚生委員会 請願・陳情締め切り(午前中)(※4)

3月13日(金)環境建設委員会 3月16日(月)広聴広報特別委員会 3月23日(月)議会運営委員会(※3) 3月26日(木)3月定例会本会議(最終日)

意見ではあるが賛成する者もいる

べきである。なお、会派内には同

ことを申し添え、反対討論とする。

広聴広報特別委員会(※3) 4月14日(火)広聴広報特別委員会

(※1)当日は現地視察を予定しています。委員会の再 開時間等につきましては、議会事務局にお問い 合わせください。

(※2) 3月定例会初日上程の受け付け期限です。

(※3)開会時刻については、議会事務局にお問い合わ せください。

(※4) 3月定例会最終日上程の受け付け期限です。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

本補正予算は、

保育園等の公

補令

正和 予元

算年

(度

3 般

号 会

の指定についての議案が2件提

12月定例

内会では、

指定管理者

第

申をもらっています。施行期 営協議会から適当である旨の答 うために改正するものです。 税から適用する税率の改定を行 税率をそれぞれ改正します。 ついて所得割額及び均等割額の 齢者支援金分及び介護保険分に 充てるため医療保険分、後期高 法定外繰入金の段階的な解消に なお、小平市国民健康保険 主な内容は、一般会計からの 令和2年度分の国民健康保険

部民 を健 改 康 保 正 す 険 る 条 条 例 例 の

指定管理料について債務負担 為を設定します。 車駐車場及び市民総合体育館 百8億3千6百8万9千円とし の指定期間が満了する有料自 ともに、本年度末で指定管理者 び債務負担行為の補正を行うと ます。このほか、鷹の台駅前広 をそれぞれ3億2千6百76万9 十円増額し、総額をそれぞれ6 %用地の購入に伴い、地方債及

補正予算の規模は、 歳入歳出

接審査を実施しました。

義明氏

向けて事業を実施するために必 要となる経費を計上することが 前広場用地の購入など年度末に 構成を補正するほか、鷹の台駅

認可保育園に係る事業費と財源 新制度に移行した幼稚園、

れぞれ設置し、書類審査及び面 日から令和7年3月3日までの 育館指定管理者審査委員会をそ 者選定委員会、小平市民総合体 平市有料自転車駐車場指定管理 5年間です。 なお、選定に当たっては、小

同意しました。 者を次のとおり推薦することに たび1人増員を図ります。 から委嘱されていますが、この 人権擁護委員候補者 増員する人権擁護委員の候補 現在、7人の委員が法務大臣

出されたものです。 う指定管理者を指定するため提 定に基づき、各施設の管理を行 指定の手続等に関する条例の規 法及び公の施設の指定管理者の 出され、それぞれ可決されまし た。これらの議案は、地方自治 指定の期間は令和2年4月1

合体育館共同事業体

人権擁護委員候補者の推薦

育の無償化に伴

認定こども

定価格の改定及び幼児教育・保

同で事業を運営する小平市民総 トボールクラブ株式会社との共 を代表事業者として、東京フッ 指定管理者 |小平市民総合体育館| 一般社団法人小平市体育協会

は令和2年4月1日です。 ത 指 定

同可決、記念の

窸

指

定

管

理

者

認定または

指定管理者 小平市有料自転車駐車場 公益社団法人 小平市シルバ

盒

常任委員会では、先進市等の事業を調査するために行政視察を行っています。 令和元年10月23日~25日及び10月30日~11月1日に実施した視察先、及び視察事項 は以下のとおりです。

総務委員会 (10月23日~25日)

●千葉市 (千葉県)

ICTを活用したまちの課題解決について

低委員

●井原市 (岡山県)

地域情報化の推進について

●泉大津市 (大阪府)

業務改革推進プロジェクトについて 生活文教委員会 (10月23日~25日)

●小野市(兵庫県)

ハートフルチャレンジおの検定について ●亀岡市(京都府)

セーフコミュニティ推進事業について ●東近江市(滋賀県)

東近江版SIBを活用したコミュニティビ ジネススタートアップ支援事業について

厚生委員会 (10月30日~11月1日)

●千歳市(北海道)

ちとせ版ネウボラの取り組みについて

●札幌市(北海道)

子ども発達支援総合センターちくたくにつ いて

●苫小牧市(北海道)

みんなで健幸大作戦の取り組みについて

環境建設委員会 (10月30日~11月1日) ●名古屋市(愛知県)

なごや生物多様性センターについて

●豊田市(愛知県) 豊田市動物愛護センターについて

●福山市 (広島県) 福山市次世代エネルギーパークについて

12月定例会

### 各 議 対 す る 否 の

会派名略称 ( )内は各会派の議員数

政和: 政和会 (7) 公明: 生ネ: 生活者ネットワーク (3)

明党(6) フォ:フォーラム小平(4) 市民:まちづくり市民こだいら(1…無会派) 公明:市議会公明党(6)

一人:一人会派の会(4)

共産:日本共産党小平市議団(3)

		件名	議決結果	政和						公明					フォ				一人				共産			生ネ		抿	恭	反	
公 分	番号			小野 高一	つ	磯山亮	鈴木 洋一	福室 英俊			虻川 浩	真知		喬本 孝二		0	<b>.</b> I	1 5				洋	細谷正	業に	_	さとう悦子	山﨑とも子	山浦まゆみ	水口かずえ	成	
議議	第9号	放射線副読本の記述内容の見直しを求める 意見書	原案可決	×	×		×	×	×	0		0	- (						0	0	0	$\circ$	0							20	6
議員提出	第14号	令和2年度から導入される予定の大学入試 制度改革について再検討することを求める 意見書	原案可決	×	×		××	×	×	×	×	×	×	×   ×	<				0	0	0	0	0						)	15	12
	第52号	平成30年度小平市一般会計歳入歳出決算の 認定	認定	×	×	※ 議 長	××	×	×	0	0	0	- (						×	0	×	×	0						×	16	10
議市長提出	第58号	令和元年度小平市一般会計補正予算(第3 号)	原案可決	0	0		0			0	0	0							×	0	×	×	0							24	3
	第60号	小平市国民健康保険条例の一部を改正する 条例	原案可決	0	0		0			0	0	0							0	0	×	×	×	×	× :	× :	×   :	×	×	18	9

○:賛成 ×:反対 一:欠席 ※議長は表決に加わりません。

全会一致で議決した議案等 注1 注2

区分	番号	件名	議決結果	番号	件名	議決結果
						成八和木
議員提出議案	第12号	臓器移植の環境整備を求める意見書	原案可決			
	第53号	平成30年度小平市国民健康保険事業特別会計歳入歳出 決算の認定	認定	第63号	小平市下水道条例の一部を改正する条例	原案可決
	第54号	平成30年度小平市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決 算の認定	認定	第64号	小平市消防団に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第55号	平成30年度小平市介護保険事業特別会計歳入歳出決算 の認定	認定	第65~68号	市道路線の認定及び廃止(3路線の認定、1路線の廃止)	原案可決
市長提出議案	第56号	平成30年度小平市下水道事業特別会計歳入歳出決算の 認定	認定	第69号	小平市有料自転車駐車場の指定管理者の指定	原案可決
	第57号	人権擁護委員候補者の推薦	同 意	第70号	小平市民総合体育館の指定管理者の指定	原案可決
	第59号	小平市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準 に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	第71号	東京都四市競艇事業組合規約の変更	原案可決
	第61号	小平市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	第72号	小平市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第62号	小平市立公園条例の一部を改正する条例	原案可決	第73号	小平市印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決
請願	第2号	精神障害者への小平市心身障害者福祉手当の支給を求 めることについて	採択			

注1 議長は表決に加わりません。

注2 佐藤徹議員は欠席のため、議員提出議案第12号、市長提出議案第53号~57号、71号及び請願第2号の表決に加わっていません。

を捉え、防災の取り組み等をテ な支援と連携に取り組んでいる。 会を捉えて情報共有等を行い、 を掲載するなど支援をしている。 市長 ①自治会ハンドブック等 古動団体との連携を進めている。 目治会同士や地域のさまざまな また、自治会地域懇談会等の機 において自治会発足手続の情報 ②自治会地域懇談会等の機会

小平市として各地域の自治会 橋本孝二議員

存の自治会活動への取り組みは 活動をより活発化させるべき ①新たな自治会発足と既 質問 に対する今後の取り組みは。

①就職氷河期世代対象者

クラブ設置で、さらなるレベル

①小学校全校への吹奏楽

防災意識向上を促進するべき

②仮称コミュニティFMこだ

①自治会加入率の推移は

自助と共助の自治精神を持ち

②防災対策等の観点で既存自

②市内にある民間企業への助

治会と市の連携対応の総括は。 された。市では、各支援機関の 世代の就職支援専門窓口が開設 等を行っており、元年11月には 情報提供等の支援を行っていく。 から就職まで切れ目のない支援 代支援プログラムとして相談等 ハローワーク立川で就職氷河期 ②市では、小口事業資金融資 ①国では、就職氷河期世

事業等の支援を行っている。

用、中学校では使用していない。

販売するなどしている。

の授業にお

いて小学校は1校使

②平成30

年度の社会科の歴史

の歴史の授業で中学校は1校使

)平成30年度の社会科

小学校では使用していない。

大事にしていく考えへの見解は。

⑤小平弁を小平の文化として

支援でより住みやすい自治会活動の活性化を (市議会公明党 まちに 若者

小平をより住みやすいまちに 就職氷河期世代を含む若者支援で

成金等の支援策は

### 市政を問う

# 質問

### 般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況 及び将来に対する方針等について質問することをいいます。 ·般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめた ものを掲載しております。

これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・ 検索ができます。動画もご覧になれます。

商業化したイベントへ市が公金

な商業主義化への批判があるが、

②近年、オリンピックの過度

を支出することに対する見解は。



# 山田大輔議員 (政和会)

アップを目指すことへの見解は。 ており、児童が自主的、実践的 実態を踏まえること等が示され 教科的な色彩の濃い活動を行う 教育長 ①学習指導要領では、 器の拡充を図ることへの見解は。 全校一律の設置は考えていない。 い取り組む時間であることから、 一織にならないこと、学校等の ②現時点では活用は考えてい ②楽器寄附ふるさと納税で楽

# こだいらの活用/防災意識向上 小・中連携教育へ吹奏楽のまち

制度の活用を研究していく

連携教育推進に向け活用すべき 吹奏楽のまちこだいらを小・中

を充実するためのふるさと納税 時等の協定等も検討していく を研究するとともに、近隣市に 度38·3%、平成29年度3·3 活性化等となり得るが見解は 先進自治体の取り組み等を踏ま 平成27年度38·6%、平成28年 市長 ①平成26年度38・9%、 いらの開設、活用が防災、地域 ②立ち上げは考えていないが 平成30年度36・8%である。



# かれる ないプピック・パラリンピックに (一人会派の会)

している。市としては共生社会 ち市負担分約1億1千7百万円。 までで約2億3千4百万円。 の実現につながると考えている。 が問題となっていることは認識 ③勝利至上主義が顕著にあら ②放送権高騰等の商業主義化

質問

①これまで東京20オリン

オリンピック・パラリンピックに

ピック・パラリンピック関連で

市が支出した費用の金額は。

源であり地域活性化につながる を与えている。市内練習グラウ FC東京はスポーツ事業を通じ 世界実現への貢献とされている。 る機会により子どもに夢と希望 にトップアスリートと触れ合え たスポーツ振興への貢献や身近 がオリンピック精神はよりよい われていることは認識している ンドは市の魅力を高める地域資 ④IOC等の貢献は特にない 質問

自然災害の脅威に備える対策を に 進 め る

インフラの整備対策の見解は。 しての上下水道や電線など生活 近年、変化する災害に対

平市に対する貢献は。

①平成27年度から30年度

対する貢献、及びFC東京の小

るという指摘に対する見解は。

JOCの小平市に

る過度な報道がアマチュアスポ

③メダル争いやそれにまつわ

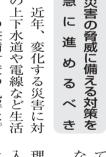
ツの勝利至上主義を招いてい



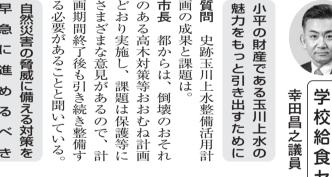
魅力をもっと引き出すために 小平の財産である玉川上水の

さまざまな意見があるので、計 のある高木対策等おおむね計画 画期間終了後も引き続き整備す どおり実施し、課題は保護等に 画の成果と課題は 都からは、倒壊のおそれ

べ き



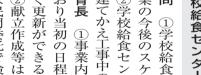
理は民間委託で検討してきたが ケジュール等の調整を踏まえ改 入札が不調となり、建てかえス めて開始時期等を知らせていく。 ②献立作成等は市が行い、調





を

なく更新ができるよう調整中。 事業の今後のスケジュールは。 ており当初の日程と大きな変更 の建てかえ工事中の代替給食は ②学校給食センター更新事業 ①学校給食センター更新 ①事業内容等を検討し



質問

足を高めるために



①小平第六小学校の夜間



学校給食センター 玉川上水の魅力 自然災 更 会対策 新 事

(市議会公明党)

こった場合、下水道の排水機能 能性があること等が課題である。 の停止や長期間の電源喪失の可 最 優 先にした

学校給食センター更新事業を の変更など検討は。 8号線開通を見越し、用途地域 駐車場等として整備できないか。 出張所跡地 ②小平都市計画道路3・2・ ち ത づ

いて検討を進めていく。 市長 ①跡地の用地取得が実現 した際には ②具体的 ポーツ施設の な検討は行ってない。 駅前広場整備につ

照明の稼働率は。



## 利用者満足を高めるスポーツ施設 鷹の台駅周辺のまちづくり 福室英俊議員 (政和会)

関しての ②小川西グラウンドの人工芝

駅

周

くりに

画図の作成、概算工事費の算出 照明のLED化の検討は。 化に向けた進捗状況は。 ており、約3割の稼働率である。 **市長** ①36玉のうち11玉点灯し ②問題点の抽出及び整理、計 ③小川西グラウンド等の夜間

菱UFJ銀行鷹の台

北側の公園に関して

などを行っている。 ③手法等さまざまな事項を勘

方改革を進めよ 案の上、調査、研究していく。 としてのプレゼンスを高めよう ○防災・減災の取り組みを問う ○FC東京のホームタウン小平 ○愛の鞭ゼロ作戦の取り組みは ○職員の休日出勤をなくす働き 【掲載分以外の質問項目】

文化として後世に引き継ぐため 小平の郷土史、 小野高一議員 (政和会) 小平弁・方言を

子校での教育機会は 子校での教育機会は るさと物語を教材と 土こだいらを教材と 後世に引き継ぐため 史、小平弁・方言を 保存会での後継者の育成や、郷 の食文化の再現、伝統的な遊び 市長 ③各種の伝統行事や地域 研究会の活動支援等している。 ④小平ふるさと村における伝 継承などのほか、鈴木ばやし

文化として

小平の郷土

④人生の功労者である高齢者 ③郷土愛を育む取り組みは。 高齢者の話を聞くことができる 統的な遊びの継承の場や小平の 民話等を語り聞かせる事業など、

物語などの資料集でも記録して 扱っているほか、小平ふるさと 地域の貴重な文化の1つと捉え ており、小平市史民俗編で取り につながるものと認識している。 機会はさまざまにある。こうい った取り組みは、郷土への愛着 ⑤方言といった語り言葉は、

の話を聞く場の必要性は。

市内を流れる玉川上水

した小・中で

②小平ふ

要だが、卒後も含めた教育部門

の現状と課題は。 品ロス削減について、

②就学期からの早期対応が重

ネットとの連携の現状は。

質問

①フードバンク以外の食

取り組み

と子育て支援課の支援の連携は。

質問

①東京都ひきこもりサポ

S

DGSを担う小平市

充ひ

実

きこ

も の b 地

域

支 め 援 に の 津本裕子議員

(市議会公明党)

ための適切な対応を行ってい

食品ロス削減の取り組みを通じて

集会施設等の「利用者負担の見直し」について

令和元年 9月 小平市

5

教育長

②スクールソーシャル

共有するなど連携を図っている。

行い、ケース検討会議に都の要

となるため市民説明会等を通じ

来のために。

て意識啓発を行うなどしている。

市民意見交換会を開催します

集会施設などの利用者負担の見直しについて

のうち市では訪問相談の受付を

①都が実施する相談対応

ス削減の分野で目指すべきでは

①ごみの発生抑制が重要

②SDGs未来都市を食品ロ

請があれば関係課が同席し情報

ともに、関係部署の相談窓口や

・カーが早期対応に当たると

させることが課題と捉えている。 理解し生活等の中で実践し定着 市民等が発生抑制の重要性等を

②元年度は31都市がSDG

ービスの情報提供を行うなど、

社会とのつながりを絶やさない

導的な取り組みに注視していく。



## 市及び教育委員会の働き方改革 使 中江美和議員 用済み紙おむつの持ち帰

# 働き方改革の取り組みについて 市及び教育委員会職員の

紙おむつの持ち帰りについて問う

質問 市の管理職の勤務状況把握は。 時間外勤務時間とその所属は。 退勤システムの導入状況は。 最長時間外勤務時間は。 ④時間外勤務にあらわれない ②小・中学校教員の1か月 ③教育委員会で進めている出

中学校が23時間30分である。 し準備を進めている。 ③元年12月1日の導入を目指

### 教育長 ②小学校が25時間 市長 ①10時間で契約検査課の 職員である。 ①市職員の1か月の最長

④出退勤システムを使用

### 再び、 (一人会派の会) して把握している。 保育園等での使用済み

行実施できなかった理由は。 質問 せて平成31年4月から公費負担 による公立保育園での処分を先 ②来年度から持ち帰らせずに ①家庭ごみ有料化に合わ

障害者が所属している場合、

る場合は、私立保育園への支援 保育園で処分できないか。 効率的な方法と費用負担につい み先行実施する考えはない。 から妥当であり、公立保育園の も合わせた実施が公平性の観点 ②私立保育園も含めた公平で 引き続き検討していく。 ①公費負担により処分す るため市民意見交換会を設けて 討を重ねたが、利点と課題があ いる。もらった意見を踏まえ、 じない方法を検討していく。

食品ロス減でSDGsを担う市ひきこもり地域支援の充実 に対して行っており、使用料に ②集会室等の貸し出しは団体 いては団体として負担しても



4)

# 集会施設等の有料化 の見直 し

鈴木だいち議員 (日本共産党小平市議団 介護認定調査は利用者の立場で

会施設等の利用者負担 らうものと認識している。

## 見直しは未来のためになるのか ①減額区分は誰がどのよ よりそった介護認定調査を 利 用 者や家族の立

場

危

害者にも自己負担は発生するか。 うな基準で公平に判定するのか。 公平性等の面で疑念や混乱が生 公平で公正な判定の方法等の検 ②障害者団体ではない団体に ①公共性の高さの基準や 席してもらうなどしている。 がある人はケアマネジャーに同 や家族が同席できないため不安 こととしているが、ひとり暮ら 席できない場合の対応は。 質問 しで認知面の低下が見られる人 マネジャー同席について見解は。 ②家族が平日に認定調査に同 ①原則的に同席できない ①介護認定調査時のケア

市

日の日中以外でも対応している。 の都合が合わない場合には、 っているが、同席する家族など ②基本的には平日の日中に行



### 市立小・中学校における危機管理 内用水路の 清 掃 に つ

子

育

て

中

の

諸

課

題

小林洋子議員

(フォーラム小平)

鈴木洋一議員

### 小平市立小・中学校における 理 に つ い 7

質問 理マニュアル等策定しているか。

### 清 小 平 市 内 の

教育長 ①全校で学校危機管理 ②火災や地震のほか、風水害 ③防災危機管理課と緊急時の

点と続く。

就労時間に休憩時間

は月20日以上かつ15時間以上の

別された自由に利用できる時間 市長 ①休憩時間が労働とは区 っては不利であるが見解は。

であることから、休憩時間を除

いた就労時間を選考基準に用い

53点、その下は40時間以上の50

られている。

1番点数が高いの

数と何時間以上かで点数が決め の就労については、月の勤務日

9時から17時3分勤務だが昼休

ながるものと考えている。 ることが、より公平な選考につ

は含まれないので、夫婦で同じ

部設置の際は地域防災計画に定

(政和会)

つ 用

質問

ので、

①全小・中学校で危機管

対応の連絡を取り合っているか 避難訓練を実施しているか。 マニュアルを策定している。

# い

水 路

ത て

> 申 保

込

み

につ

い ての

場合、就労時間の証明が難しい。

②自営業特にブリーランスの

収入をベースに就労時間をカウ

つかないフリーランスの人にと ントすると、すぐに収入に結び

質問

①保育園入園選考基準表

は何団体が参加しているか。 ①市内の用水路の清掃

上で、 さらいでやらない場所は隣接所 ているが、市で対応できないか。 有者が行っており負担がかかっ

機 市

②どのような災害を想定して

絡を密にしている。災害対策本 による連絡会に出席するなど連 校で年11回の訓練を行っている。 なども想定し、全ての小・中学 ③台風等の緊急時には関係課

の拘束時間は変わらないのに休

となり妻の点数が下がる。就労 就労時間は夫15時間、妻15時間 憩が夫は45分、妻は60分の場合、

捉えているため、選考上の不利

人と労働時間数から就労要件を

②入園申請前の6か月間の収

は生じていないと考えている。

【掲載分以外の質問項目】

しまうことについての見解は。 憩時間によって点数が変わって

○学校給食について

# て

める初動態勢に基づき対応する。

②除草作業等は、年1度の

るなど、さまざまな事情がある 接の16自治会とJA東京むさし が高齢化により作業が難しくな 19支部に協力してもらっている。 ②協力してもらっている市民 ①沼さらいでは用水路隣 適切な対応を行っていく。 個別に相談してもらった



# 保障のために/児童虐待防止健康で文化的な最低限度の生活の きせ恵美子議員(日本共産党小平市議団)

康で文化的な最低限度 活 を保障するため

チラシと配付資料 応している受給者の平均人数は。 相談者に意思を確認している。 数と就労に結びついた件数は。 生活困窮者に対し、相談者全員 人、就労に結びついたのが77人。 注申請意思を確認しているか。 ②平成30年度は就労指導が87 ③1人のケースワーカーが対 ②受給者に就労指導をした件 ①生活保護を申請に来た 接担当職員が全ての

実施された「集会施設等の利用者負担の見直しに関する市民意見交換会」の

監 児 視 童 では 虐 なく 待 支 防 援 拡 充

に 質問 支援センターのそれぞれの役割 児童相談所と子ども家庭

)10月末時点で10世帯である。 狭間に落ちるケースや、責任の 関係機関が連携する要保護児童 保護や施設入所措置等を行って 情報共有や対応の相互協力を密 いる。連携体制として、支援の の後方支援等のほか児童の一時 必要な相談への対応、 の通告を受け、 う、緊急時はもとより定期的な 対策地域協議会の中核を担って は、 いる。子ども家庭支援センター 在が曖昧になることがないよ 市内の第一義的窓口として、 児童相談所は、児童虐待 専門的知識等が

> 充 交 実 通 安 တ 全 た 対 策

②都が運用する自転車安全利どのように周知に取り組むか。 関係機関と連携し周知していく。 正道路交通法では、携帯電話等 質問 用指導員制度を導入できないか。 のながら運転が厳罰化されるが ②実施場所は交通事故の発生 か交通安全講習会等の機会に ①市報等での情報発信の ①元年12月1日施行の改

め にの 定期接種ワクチンの接種対象者への 知 をいっそう丁寧に

ワクチンの周知をより丁寧に

交通安全対策の充実/定期接種

山岸真知子議員(市議会公明党)

等で費用助成のお知らせをした。 る個別勧奨を行うとともに市報 市長 ①5月下旬に対象者全員 に予防接種の予診票等を発送す クチン対象外となる高校1年生 種率向上のための取り組みは。 への情報提供についての見解は。 ②予防ワクチンは対象年齢の ②間もなく子宮頸がん予防ワ ①肺炎球菌ワクチンの接

定期接種の年齢のうちに接種し であると言われていることから、 てもらえるよう、今後も市ホー ·般質問

関係機関と連携し自転車利用者 定はないと聞いている。今後も、

への交通安全

全対策に努めていく。

ムページ等でお知らせしていく。

件数等が多い交差点を優先して

間に接種することが最も効果的

現在は小平市での実施予

家事支援の提供はできない。 もの預かりに限定されており、 保育施設等への送迎を含む子ど

簿の登載者から候補者を決定し 臨時的任用教職員採用候補者名 教育長 ①学校の管理職が都の 補助を検討すべきだが見解は。

市長 ①国の実施要綱に基づき、 な取り組みをしているか。 援を加えることはできないか。

教員手配はどのような仕組みか

①産休に入る職員の代替

②教員免許更新の際の講習費

①提供サービスに家事支

②利用者をふやすためにどん

センターを利用しやすく

改

革と免許更新について

公立小・中学校教員の働き方

子育て支援にファミリー・サポート・

教員の働き方改革と免許更新産後子育て支援の充実を/

川里富美議員(フォーラム小平)

すい環境づくりに努めている。

ついて機会を捉え要望していく。 含め更新時の教員の負担軽減に 国等の動向を注視し、更新費用

録説明会や年1回ファミサポ交

稚園、公民館等の公共施設で配

選考手続を経て任用手続を行う。

特別認定の制度により都の

②市の補助は考えていないが、

**ゆしている。また、利用会員登** 

サポ通信を年2回、保育園、幼

②市報等への掲載や、ファミ

場合は学校等が探した者につい

任用手続を行う。見つからない

流会を開催するなど、利用しや



6

# 事前防災、 事前防犯の充実

事前防災、事前防犯の充実を 市民の命と地域機能を守る

質問 会を設けるべきでは。 際に市民に一定期間開放する機 ②都補助金の活用で防犯カメ ①マンホールトイレを実

条件が調った場合に都補助金を われていることなど設置への諸 期的かつ継続的な防犯活動が行 活用して支援を行っていく。 う引き続き訓練を継続していく。 市民が触れる機会が得られるよ ②平時からの住民等による定

質問

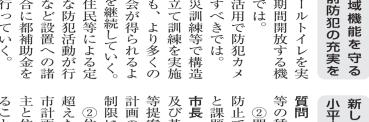
の説明及び組み立て訓練を実施 市長 ①総合防災訓練等で構造 している。今後も、より多くの ラをさらに増設すべきでは。 蚚

(仮称)小平市土地利用基本条例 浩議員 (市議会公明党) 小平市土地利用基本条例制定を 新しい土地利用のため(仮称)

①主な土地利用関係条例

制限に関する条例等がある。 計画の区域内における建築物の 等提案型まちづくり条例、地区 と課題をどう捉えているか。 防止できない現行条例等の限界 及び基準等に関する条例、市民 ②開発事業者と住民の対立を ①開発事業における手続

ることが重要と考えている。 主と住民が相互の立場を理解す 超えた行政指導等は難しい。都 市計画法等を踏まえた中で事業 ②住民要望があっても法令を



### 運動場の改修と人工芝化の問題点 施 設 の 利 用

水口かずえ議員(まちづくり市民こだいら)

# 小川西グラウンドの人工芝化 けやき運動場の改修及び

質問 ①けやき運動場に高さ10 の機能を低下させないか。 らすことは広域避難場所として 化と維持管理にかかる費用は。 ②小川西グラウンドの人工芝 以上の防球ネットを張りめぐ

市長 ①機能に支障はないもの と認識している。 が高まる可能性の認識は。

因と指摘される人工芝への批判

③マイクロプラスチックの原

耐用年数10年として10年間で約 2百万円と試算している。 ②人工芝化に約1億8千万円、 ③影響が把握できておらず今

> 後の実態調査結果等を注視する 者 負 担

集会施設などの利用者負担の 見直しと、公民館の役割について ①今までほぼ全ての団体

質問

導入などにかかる費用の試算は。 その目的のために利用するとき の活動を阻害し、医療費等の別 が使用料免除されていた理由は。 に該当するため。 教育長 ①社会教育関係団体が ③利用料金徴収のための機械 ②利用者負担の見直しが市民 経費をふやす可能性はないか。

市長 ②市民活動が継続できる よう減額方法等を検討していく。 ③機械の導入などについては



### 公文書 緑を守って魅力アップするために の 管 理 い 7

公文書管 小平市における情報公開と 理 に

係についての考え方は。

言や研修をどう行うか。 定に向けた検討の進捗状況は。 ④文書管理の有識者による助



7 廃棄までの一連の流れに沿って

②公文書管理と情報公開の関

市長 ①公文書管理検討委員会 ⑤文書廃棄の判断への考えは



(仮称) 公文書管理条例制

り公文書の範囲も今後調整する。 で文書管理見直しを検討してお

報公開推進の上で重要である。 ③検討委員会で文書作成から



①公文書の範囲は。

ている。廃棄を適切に行うため

に必要な体制の整備も検討する。

の基礎となるもので適正化は情 ②公文書管理は情報公開制度

さとう悦子議員(生活者ネットワーク)

公文書の研修会を行った。有識 者の助言は必要に応じ検討する。 定も今後検討する予定である。 見直しており、その中で条例制 や、保存期限の見直しを検討し ⑤歴史公文書の考え方の導入 ④職員に外部講師による歴史

質問

①多胎家庭への支援策は

現在どのようなものがあるか。

②過去5年間の多胎家庭への

育児支援

の充実化を急げ

市民への丁寧な説明と合意形成を

多胎育児

さらに魅力アップするために 平市の緑を守って

話し合う場が必要だが見解は。 の指定管理者に伝えていく。 樹木の剪定などについて市民と 市長 意見交換会等の要望は都 狭山・境緑道においても



## 均等割、 防災対策、 法定外繰入金を問う 避難計画など/国保の

細谷 正議員 (日本共産党小平市議団)

避市 難 の 計 防 画 災 に 対 つ い策

(国分寺市管理)

質問 ①市の防災対策の想定規

運動場 市長 ①平成25年に修正された との関係性についての認識は。 の考え方と公共施設の縮減計画 定数や増員についての認識は。 小平市地域防災計画に基づく。 ③公共施設を避難所とする市 ②災害時等の職員数について

ットが設置されてい 観点も重要である。移転に伴う を配置することは困難である。 や復興のためにあらかじめ職員 正な配置を行っている。災害時 ②定数は通常業務に応じた適 ③公共施設の整備等は防災の

補完など防災力の維持に努める 施設の周辺エリアを含めた代替 地域防災機能の再配置の検討や

国民健康保険制度について

実施している自治体への認識は。 ②一般会計繰出金は堅持すべ ①多子世帯均等割減免を

きと考えるが認識は。

けて段階的対応を検討している。 のうち赤字部分解消は時間をか 設等を国に要望した。自治体個々 市長 ①均等割額の軽減制度創 すよう求められている。繰入金 で検討すべきものと考えている。 の対応ではなく、統一的な観点 ②国から法定外繰入金を減ら



# 負担見直しには丁寧な説明等を 多胎育児施策 /公共施設の

一般質問

山浦まゆみ議員(生活者ネットワーク)

にやさしい施策で 公共施設の負担見直しには

願書提出から約9年経過してい るが、この間市民に意見を求め る機会はあったか。 ①平成22年12月議会の請

の程度影響があるか。 ②市民活動団体の登録減等ど

育支援ヘルパー派遣件数は。 乳児家庭全戸訪問事業による養

③ゆりかご・こだいら事業の

負担の原則は適応されるべきか。 直接市民に意見を求める機会は ③公共サービス全てに受益者 ①世論調査等は行ったが、

無料で提供されるものもある。 できるよう減額方法等検討する。 ②これまでの市民活動が継続 ③内容や法令等の規定により

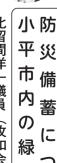
要なものを購入する傾向にある。

③出産用品など妊産婦等に必

件、28年から30年度までゼロ件。

②平成26年度1件、27年度1

ーズ等の把握に努めている。 面接等を通して多胎児家庭のニ 支援策は現在ないが、妊婦全数 市長 ①多胎児家庭のみ対象の 育児パッケージの用途把握は。



災

備

に

つ

い

7

につい

7

比留間洋一議員(政和会)

防 7

を運搬することを想定している。

防災備蓄についての対応は。 で、3年前と数量の増減があっ た主な物品名と数量の変化は。 ②人口が増加する東部地区の ①防災備蓄している物品

おり開設された避難 今後も、広く周知に努めていく。 てパンフレットに掲載している。 樹木の一部は市の名木百選とし



ら2千6百28個へ増加している。 タッチパーティションが60個か から17万8千4百回分へ、ワン い捨てトイレが6万7千百回分 食から13万9千3百50食へ、使 アルファ化米が5万8千4百50 市長 ①平成30年度末時点で、

所の状況を把握の上、必要物資 理を行って ②6か所の備蓄倉庫で集中管

> 小 平 ①保存樹木の登録が取り 市 内 の 緑 に つい

採する事例が多くなっている。 消された理由で多い事例は。 性について啓発しており、保存 合や、倒木の危険性が高い場合、 近隣からの苦情がある場合に伐 どのように周知を行っているか。 必要性を伝えることが重要だが、 ②ホームページ等で緑の重要 ②保存樹木周囲の住人に緑の ①宅地開発などを行う場

踏み切れない事例が存在するが

この機会損失をなくす方法は。

①市の財政に大きく影響

われない懸念があるため寄附へ



# 科医療の連携

質問 があるがどう考えているか。 費削減効果を上げている自治体 ②医療費削減効果を上げてい ①口腔ケアの推進で医療

科医が話しており継続していく。 とが感染症予防になると学校歯 よるインフルエンザ対策推進は。 の質を高めることが期待できる。 ②数値として捉えるのは困難 ③経済的試算は困難だが生活 ①削減の可能性がある。 ④口腔を良好に保つこ

る主な施策の成果の数値は。 きれいにして健康施策等を進めよう 歯科医療と連携し口・歯を ③口腔ケア推進による効果は、 ④小・中学校の歯磨き指導に 質問 小

松岡あつし議員 オリンピック・パラリンピック ・中学生の観戦の学校配慮を

オリンピック観戦は学校に配慮を (政和会) で健康推進

など対応を検討していく。 当日に重なる場合の対応は。 聞くか。希望しない場合対応は を観戦できるよう調整していく。 益にならない配慮をすべきでは。 時間外対応になった際の対応は しない場合欠席とはしない予定。 ③勤務時間の設定を変更する ②市内の施設で競技の生中継 ④観戦に行かない場合、不利 ③教員が観戦に同行する場合 ②部活動の大会などの直前 ①児童等の観戦の希望を ①希望を確認し、希望

ふるさと納税の健全な活用を ④差が生じないよう配慮する。

安竹洋平議員 (一人会派の会) ごみ処理施設の情報提供を

寄附制度拡充で市民参加推進を ふるさと納税の健全活用と指定 してもらえるよう努めていく。 活用していることを説明し理解

巨費を投じるごみ処理施設の、 より丁寧な情報提供等を

令和元年 小平市歯と口の健康週間事業

質問

①ふるさと納税の大幅な

市はどう捉え対策しているか。

②寄附者が想定した用途に使

マイナス収支 (損失) と増大を

質問 と聞いており、より丁寧な情報 進めていく。組合からは窓口で 料も市ホームページへの掲載を 要な資料を組合及び市のホーム 算附属書類等の財務に関する重 の予算書等の閲覧に応じている ページに掲載していない理由は。 小平市もそうだが、一般会計決 いる財務書類が非常に少ない。 合のホームページに掲載されて 今後は、現在未掲載の資 小平・村山・大和衛生組

無料歯科健診と相談

健康の入口はお口から

小平市健康センター2階

午晚1時~3時30分

午晚1時30分~2時

午後2時10分~3時

東部市民センター

見センター 午前10時~12時30分 歯科健診、歯プラン指導 午前10時~12時30分 備料銀路、備2号>指導 間係なく どなたでも受けられます。 予約不要です

D 6月1日 土曜日

### オーラル 主避難 フレイル 所 設置と情報発信 対策を/災害時の

山﨑とも子議員 (生活者ネットワーク)

オーラルフレイル対策をして 延 ば そ う 対する市の取り組みについて 災害時の情報発信と風水害などに

健

康

寿

命 を

質問 あわせた口腔機能維持向上の啓 発を提案するが市の見解は。 ②誤嚥性肺炎予防のため介護 ①こだ健体操普及活動と

質問

①自主避難所開設の基準

質問

と台風19号の際の設置経緯は。

ともに実施することの見解は。 ③オーラルフレイルのスクリ策を取り入れることはできるか。 内等しており今後も幅広い世代 予防講座にオーラルフレイル対 を対象とした啓発に努めていく。 に歯と口の健康週間事業等の案 ーニングテストを歯科医師会と ながら検討していく。 ②講座の目的や内容を踏まえ ①こだ健体操教室来場者 レビのデータ放送等を通じて配 ター等のSNS及び自動的にテ 犯緊急メールマガジン、ツイッ と等を総合的に判断し開設した。 開設の問い合わせが多かったこ 力で上陸するとの予報や避難所 信はどのように行ったか。 台風19号が大型で非常に強い勢 信できるLアラートにて行った。 ②市ホームページ、防災・防 ②自主避難所開設等の情報発 ①基準は定めていないが

市長

③連携しながら研究していく 設

### 大沼グラウンドにAED す る 竹井ようこ議員 べ

質問

①大沼グラウンドにAE

により、 用させてもらうことにしている。 ED設置の協定が結べないか。 市長 ①近接の医療機関の厚意 ②コンビニエンスストアとA ②包括協定締結に向けた検討 緊急時にはAEDを借

別の合意が必要と聞いている。 想定され、店舗オーナーとの個 設置には、基本協定書の締結が を行っている。店舗へのAED

サ 児童養護 ポ Ī 施設退所者への に つ い 7



### 施設/こども見守り グラウンドのAED (フォーラム小平) 小平駅前 児童養護

の住居支援実施への考えは。 ふるさと納税による施設退所後 任居費助成事業の創設の進捗と

【掲載分以外の質問項目】

○小平駅南口喫煙所跡地の有効 の参加について

見直し/ 橋本久雄議員(一人会派の会)

どんなまちになっているのか 令和2年 (24年)、小平市は

「歯と口の健康週間事業」のご案内(公益社団法人東京都小平市歯科医師会) 市長 症高齢者などの人数と増減率は。 齢者世帯、要介護認定者、認知 生、保育園児、 般会計歳入額、 令和22年は推計等してい 平成29年と令和22年の一 ひとり暮らし高 職員、小・中学

集会施設等の利用者負担 直しの課題について

要ではないか。 ②有料化についての説明が必

①有料化は決定なの

検討会を設置できないか。 ③市民、専門家、職員による

きないが、基金の目的に沿って

提供の要望は組合に伝える。

てられたか詳細に示すことはで

②寄附金がどの事業に幾ら充

書で歳入の減少を伝えている。 見直しを要請し、市報や財政白 会を通じて都とともに国へ制度 すると捉えている。東京都市長

き

Dがないことは問題ないのか。

活用について ○こどもを守るネットワークへ

令和22年の小平市/ 、気候非常事態宣言を 利用者負担

の適正化検討委員会の報告書で 市長 ①平成22年の受益者負担 は原則有料となっている。

告書に沿って見直す。 りやすく伝えられるよう努める。 者負担の適正化検討委員会の ③半数以上が公募市民の受益 ②利用者負担の見直しをわか

小平市気候非常事態宣言を ストップ気候災 害

質問 量削減の取り組みは。 ②気候非常事態宣言をできな ①今後の二酸化炭素排

体的な取り組みを検討する。 ②宣言はしない。 ①次期環境基本計画で具

**|録に記録されます。当システ** 

本会議や委員会での発言は会

る児童養護施設退所者への支援 ①子ども・若者計画にあ

等の収集等の検討を行っている。 ク掲載等での周知を考えている。 ており仮称若者応援ガイドブッ ク作成を考えており掲載情報 ②国や都の支援策等が充実し ②施設退所者への奨学基金と ①仮称若者応援ガイドブ

を提供し みずからの専門知識やスキル 専従しない独立した形態で、 活動のこと。 ※5 フリーランスとは 特定の て対価を得る人のこ 企業や団体、組織に

朩 議 ページ

まざまな機能があります。ぜひ ご活用ください。 小平市議会のページには、さ

を開始 ○議会中継 トで録画配信しています。録画 ○会議録検 での間、ごらんいただけます。 映像は会議日の3日後から配信 本会議の様子をインターネッ Ļ 次の定例会の前日ま 索システム

○市議会だよりデジタル版

むことができます。

本会議や委員会は定員の範囲

# 間の解説

※6 自転車安全利用指導員

**%** 定価格とは

案して、 のこと。 る基準により算定した費用額 保育等に通常要する費用を勘 子ども 内閣総理大臣が定め 1人当たりの教育・

を未然に防ぎ、違反者等に啓

※7 育児パッケージとは

出産・子育て応援品のこと

発や指導を行う。

事故の多い交差点などを巡回

の向上を図るため、指導員が 自転車の交通ルール・マナー

都が実施している事業で、

し、事故に直結する違反行為

International Olympic 10Cとは

**%** Committeeの略称で国際オ リンピック委員会のこと。 Japanese Olympic JOCとは

Committeeの略称で日本オ

※8 オーラルフレイルとは

老化によって、かんだり、

券が渡される。

談を終えた妊婦に子ども商品 では、マタニティサポート面 で、ゆりかご・こだいら事業

処分される食品を、食べ物に 困っている人や施設に届ける ※4 フードバンクとは リンピック委員会のこと。 食べられるにもかかわらず

> 口腔機能が衰えること。それ 飲み込んだり、話したりする

自覚の病気等を早期発見する きる共通の検査のことで、無 ことを目的としている。 集団に対して迅速に実施で

議録を検索することができます。 ムでは、キーワードなどから会

よりをデジタルブック形式で読 年4回発行している市議会だ

してみませんか市議会を傍聴

受付)。 所定の手続をしていただ 内で傍聴できます。会議当日に、 市役所7階の議会事務局にお越 いた後、傍聴券をお渡しします。 しください(午前8時30分から

※9 スクリーニングテスト

したり、心身の機能低下につ に伴い、食生活に支障を及ぼ

ながるおそれがある。

きました。

12月定例会では、 継続審査となっていた1件の請願を採択し

# 表を配付しました。採択された請願事項は次のとおりです。 ました。陳情は2件を受理し、 手当の支給を求めることについて精神障害者への小平市心身障害者福祉 全議員及び執行機関に陳情文書

者福祉手当の支給を検討してください。 祉手帳1級、2級所持者に対し市の制度としての小平市心身障害 東京都が実施するまでの間の経過措置として精神障害者保健福 小平市小川東町4丁目 小平市けやきの会

小嶋

四郎

外 5 人

# 12月定例会では3件

係機関へ送付しました。

の意見書を可決し、関 (要旨)

庁に文書で提出するものです。 て議会としての意思を意見とし 公共の利益に関することについ (地方自治法第99条) 意見書とは、 国会または関係行政 地方公共団体の

の見直しを求める意見書 した児童・生徒へのいじめや 力発電所の事故後、各地に避 文部科学省は東京電力福島原 あて うことを強く求めます。

### 臓器移: 求 め 植の環境整備を る 意 見

植は臓器売買等の懸念を生じさ 築されていない外国における移 患者の命が救われています。 や機械では困難であった臓器の 機能回復が可能となり、多くの 臓器移植の普及によって薬剤 臓器移植ネットワークが構

態宣言が解除されていないこと

避難中の子どもたちの多くが帰

っていないことや原子力緊急事

成26年と平成30年に改訂されま

初版は平成23年で、その後平

したが、改訂の基準が曖昧で、

として回収した事例も報告され めることが必要です。 る立場の指摘を軽視せず受けと ていることから、こうした異な た人々の思いが抜け落ちている 者がいる中で副読本にはそうし 発事故で今も4万人以上の避難 滋賀県野洲市教育委員会が原

内容は慎重に適切な見直しを行 内閣総理大臣、文部科学大臣 よって本市議会は、関係行政 放射線副読本の記述

放射線副読本の記述内容

ために放射線副読本を作成し、 風評被害などから子どもを守る

高校生に配布して

族などと話し合う機会をふやす 考える中で臓器移植に係る意思 めるため、 慎重な判断が望まれます。 とが記述されていません。 いことは安易に安全と断定せず、

また科学的に証明されていな 指摘される課題があるこ 「市民と議会の意見交換会 人権上

年々増加しており、平成28年の 関する法律の改正により、 ますが、心停止後の提供も含め 臓器提供者数は44人となってい 家族の承諾により臓器の提供が の意思が不明な場合であっても て移植希望数には届きません。 後、脳死下での臓器提供者は 能となりました。同法の改正 平成22年7月の臓器の移植に よって本議会は国会及び関係

備を求め次の事項を要望します。 を尊重できる臓器移植の環境整 一政庁に対し臓器移植に関する 分な情報を提供し自由な意志 臓器移植に対する理解を深

国民が命の大切さを 民が臓器移植ネットワークの構 態や課題等を調査した上で、 5 移植を受けることのないよう必 築されていない国において臓器 海外における臓器移植の実 玉

問題となっ ことができるようリスクを含め て臓器移植に係るさらなる啓発

W

ゆしき問

援すること。 植コーディネーターの確保を支 細かな対応が可能となるよう移 ら臓器提供後のアフターケアま 3 じたきめ細かい支援を行うこと。 開催など個々の施設の事情に応 のマニュアルの整備、 に努めること。 で、 ドナーの家族に対してきめ より安全な臓器移植のため 臓器移植についての説明か 研修会の

ついて負担軽減対策を講ずるこ を担う臓器移植施設の担当医に 臓器摘出手術から移送まで

は採点スタッフの人数は1万人 さははかり知れません。報道で 分に信頼することのできない バイトも採用されます。

自己採点を正確に行うことが難

験を継続り

することを求めます。

閣総理大臣、厚生労働大臣あて 要な対策を講ずること。 参議院議長、

なります。また、大学入学共通 大学入試の根幹が揺らぐことに

受験する大学の選択や合否の予

際の得点と自己採点の不一致は、

測に甚大な悪影響を及ぼすこと

度改革について再検討すること

ここで一旦立ちどまり、

入試制

た大学入学共通テストの実施を

になり、

深刻な問題です。

を強く求めます。

内閣総理大臣、

文部科学大臣

検討することなく、大学入学共

あて

これら制度的問題点を十分に

通テストの

点者によって採点が行われれば、

いと

いう問

題もあります。

実

ケジュール

ありきで進めてき

ド め る 意 見 書ついて再検討することを予定の大学入試制度改革に 令和2年度から導入される

ましたが、大学入学共通テスト する大学入学共通テストで、 を指摘することができます。 題出題については深刻な問題点 については、ほかにも課題があ 式問題を採点することの困難 50万人以上もの受験生が参加 大学入学共通テストの英語民 特に国語・数学の記述式問 今回実施が見送られ 記 教材を販売する教育産業の関連 仕組みが存在しないことです。 採点の質を公的にチェックする 民間企業が集める採点者の質や 会社で、試験実施前に問題や正 知らされるとの報道がありまし には試験前から問題と正答例を 信頼が大きく損なわれるおそれ どが危惧され、 答を知ることは問題の漏えいな た。採点をする事業者が試験の かつ公平な採点は困難であるた 莫大な量の答案を短期間に採点 することが強いられます。正確 採点を請け負う民間事業者 何より問題なのは 入学試験の信用

えます。

実

平・公正な 突破すれば、

なる可能性

公正に行う

ための制度整備がで

迫った今日

でもいまだに公平・ 施時期が1年余りに がきわめて高いと言 入試を受けられなく

進めること

よって本

市議会は、関係行政 はできません。 きていない状況では、このまま

市議会では今年度2回目となる意見交換会を開催しました。今回は、9月 定例会の報告を行ったのち、設定したテーマについて、市民の皆さんと意見 交換を行いました。 各会場で多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。 11月4日(月)「みんなで考える みちづくり・まちづくり ~あかしあ通りグリーンロード化 について~」

催しました

(環境建設委員会班)鈴木地域センター 第一、第二集会室 午前10時から 参加者6人

11月4日(月)「ICTの利活用による小平の未来のかたち」 (総務委員会班)花小金井北地域センター 第一、第二集会室 午後2時から 参加者12人

11月5日(火)「みんなで考える『健幸こだいら』」

(厚生委員会班)小川公民館 ホール 午後7時から 参加者9人

11月11日 (月)「住みたい・行きたい・買ってみたい ~人と店が集まる街こだいら~」 (生活文教委員会班)小川町一丁目地域センター 午後7時から 参加者17人 集会室 1 · 2

意見交換の内容やいただいたご意 見、アンケート結果の詳細について は、市議会ホームページ(https://w ww.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/) のほか、市役所7階議会事務局でも ご覧いただけます。

今後も市民の皆さんとの意見交換 の機会を定期的に設けていきます。 多くの方のご参加をお待ちしており ます。



▲総務委員会班の様子





10月23日~1月14日 本会議、委員会、諸会議など

月 10

23日 総務委員会行政視察(千葉県千葉市、岡山 県井原市、大阪府泉大津市 25日まで) 生活文教委員会行政視察(兵庫県小野市、 京都府亀岡市、滋賀県東近江市 25日まで)

埼玉県所沢市議会議員視察来庁(コミュニ ティタクシーについて)

多摩六都科学館組合議会 東京たま広域資源循環組合議会 厚生委員会行政視察(北海道千歳市、札幌

市、苫小牧市 11月1日まで) 環境建設委員会行政視察(愛知県名古屋市、 豊田市、広島県福山市 11月1日まで) 東京都十一市競輪事業組合議会

11

月 4日 市民と議会の意見交換会

市民と議会の意見交換会 多摩六都科学館組合議会行政視察(群馬県

富岡市) 公共施設マネジメント調査特別委員会(武 蔵野市視察)

東京都四市競艇事業組合議会 市民と議会の意見交換会

12日 総務委員会 (港区視察) 生活文教委員会

13⊟ 厚生委員会 14⊟

環境建設委員会 (清瀬市視察) 三多摩上下水道及び道路建設促進協議会第 3委員会

18日 幹事長会議

小平・村山・大和衛生組合議会 昭和病院企業団議会行政視察(長野県長野

市) 21日 議会運営委員会 22⊟ 湖南衛生組合議会 12月定例会初日

議会運営委員会 (臨時) 12月定例会2日目(一般質問) 27⊟ 12月定例会3日目(一般質問) 29日 12月定例会 4日目 (一般質問)

12 月

3 ⊟ 総務委員会 生活文教委員会 4 ⊟ 5日 厚生委員会 環境建設委員会(市内視察あり)

広聴広報特別委員会 10⊟

11⊟ 小平市第四次長期総合計画基本構想特別委 員会

幹事長会議 13⊟ 議会運営委員会 16⊟

12月定例会最終日 広聴広報特別委員会

練馬区議会議員視察来庁(コミュニティタ クシーについて)

月

9日 議員参集訓練 14日 広聴広報特別委員会

が き

多くの受験生が公 **(施をこのまま強行** 

あ

やすい せし、 市議会の活動を積極的にお知ら 深めていただけるよう、わかり ら議会事務局にお寄せください。 別委員一同努めてまいります。 お気づきの点がございました 新年を迎え、 議会への関心と親しみを 紙面づくりに広聴広報特 気持ちも新たに、

庁に対し、

テスト 2020 年

全体につい

て令和2年度 大学入学共通

187

小平市小川町二丁目

度)からの

ん施を延期して、

品は現在の·

大学入試センター試

3 4 6